

北海道大学交響楽団

OB 楽友会管弦楽団 第 43 回演奏会

「川越守先生追悼演奏会」



北大交響楽団永久名誉指揮者：川越 守

2018年8月18日（土）

開演 15:00

於：北海道大学クラーク会館講堂

* 入場無料 *

— プログラム —



川越守 / 祝典序曲「エルムの鐘」

川越守 / 北海の幻想

川越守 / Sapporo Serenade: 2つのメロディーによる幻想曲「秋風」

ベートーヴェン / 交響曲第3番変ホ長調「英雄」

~~~~~

昭和 20 年代後半、戦後、疲弊しきっていた北海道大学交響楽団の再建・復活に学生時代から奔走し、卒業後も常任指揮者として 60 年近く北大交響楽団を牽引して下さった川越守先生が、昨年（2017 年）12 月 9 日にご逝去されました。

北大交響楽団 OB 会は、毎年夏のこの時期に「OB オケ」と称して、演奏会を重ねてまいりましたが、今年はこの第 43 回演奏会を「川越守先生追悼演奏会」として開催いたします。前日と当日のリハーサルだけで臨む演奏会ですが、学生時代に川越先生から「音楽」を教えてもらった OB たちが集い、心を込めた追悼演奏をいたします。

北大交響楽団は、年 2 回の定期演奏会など一課外活動のクラブにとどまらず、入学式・卒業式での式典演奏など、北大のコミュニティにとってなくてはならない存在となっております。さらに、その式典演奏では、よそからの借り物ではない北大のために作られた音楽が演奏されています。寮歌「都ぞ弥生」（川越先生編曲）と祝典序曲「エルムの鐘」（川越先生作曲）です。「エルムの鐘」は 1960 年 9 月、現クラーク会館のホール柿落しのために作曲された川越先生の管弦楽作品第 1 番であり、その後、入学式・卒業式でも演奏されることになったものです。若さと希望に満ち溢れた北大や北大生の気分をよく表しているまさに北大のテーマ音楽です。「北海の幻想」（1968 年作曲）は川越先生の代表作の 1 つで「ときにはおだやかな時には荒々しい」北の海様子を描写した音楽で「日本の、北海道の楽曲たり得た」とご本人が自負する作品です。「Sapporo Serenade」は 2016 年の秋の定期演奏会のために作曲された作品で、川越先生の遺作となったものです。「都ぞ弥生」と「市民の歌」（川越先生作曲）のメロディがところどころにちりばめられ、どこか懐かしい気分にしてくれる音楽です。ベートーベンの「英雄」は川越先生が大好きだった曲の 1 つです。北大交響楽団を長い間支えて下さった「英雄」川越先生に思いをはせながら演奏したいと思います。

この機会に学内外の多くみなさまにお越しいただき、川越先生が北大のため、札幌のために書いた作品をご鑑賞いただければ幸いに存じます。（北大交響楽団 OB 会）

### ～～ 川越守略歴 ～～

1932 年札幌に生まれる。高校時代よりヴァイオリンを始め、1952 年 4 月北大教育学部に入学。北大交響楽団の再建に立ち上がる。1956 年 2 月に北大交響楽団復活演奏会を指揮、同年 3 月に卒業するが、北海道学芸大学の非常勤講師などを勤めながら北大交響楽団の指導を続ける。1962 年 6 月の北大オケ定期演奏会で「管弦楽のためのアダージョ」を作曲、それ以来毎回の定期演奏会に新作を提供し北海道の音楽づくりに尽力。北大交響楽団のために作曲した管弦楽曲だけで 107 曲。その他、劇音楽などを中心に生涯作曲数は 240 を超える。2003 年には当時の丹保総長より北大での長年の功績に対して感謝状を受ける。北海道芸術新賞(1971)、札幌市民文化奨励賞(1984)、北海道文化奨励賞(1986)、札幌芸術賞(2008)。2017 年 12 月 9 日永眠